

2006年11月6日

報道関係者各位

世界 COPD デー推進日本大会運営事務局

世界 COPD デー推進日本大会 2006 のご案内

**COPD の国際ガイドライン「GOLD」の改訂を発表
～ COPD の診療は、かかりつけ医と専門医の連携で ～**

メディアフォーラム：2006年11月19日（日）14:00～15:40

会場：国立京都国際会館 Room C-2

喫煙が主な原因とされる肺の生活習慣病COPD（慢性閉塞性肺疾患）は、世界の死亡原因第4位に挙げられる疾患です。現在世界での年間死亡者数は275万人にも上り、各国で早期発見・早期治療への早急な取り組みが求められています。COPDに関する世界的な研究・教育組織であるGOLD（Global Initiative for Chronic Obstructive Lung Disease）^{*1}では、2002年から、11月のうちの1日を“世界COPDデー”に制定し、COPDに関するさまざまな啓発活動を推進しています。日本では“世界COPDデー”に関連して、2002年に記者発表、2003年からは一般市民向けの啓発行事ならびに報道関係者への情報提供を行ってきました。2004年からは「世界COPDデー日本委員会」を発足させ、啓発活動に取り組んでおります。今年も、京都にてアジア太平洋呼吸器学会「APSR：Asia Pacific Society of Respirioloogy」（11月19日～22日）が開催されるのを機に、報道関係者の皆様にCOPDに関する最新の情報や考え方をご紹介することを目的に、メディアフォーラムを開催いたします。

今年のAPSRでは、COPD治療の国際ガイドライン「GOLD」の最新の改訂について発表を行います。新ガイドラインのポイントは、「プライマリケア医により使いやすく」改訂されていることです。日本においてCOPDの患者さんは500万人以上いると推計されていますが、治療を受けているのは、わずか約21万人に過ぎません。未治療患者の受診を促し、早期発見・早期治療につなげるには、プライマリケア医（かかりつけ医）と専門医による密接な連携が不可欠です。COPD診療における課題の一つでもある病診連携を今後より一層普及させていく上で、今回のガイドラインの改訂は非常に重要な意味があるものと言えます。

今回は、GOLD^{*1}リエグゼクティブコミッティーメンバーで、世界COPDデー日本委員会委員長である順天堂大学医学部呼吸器内科 客員教授の福地義之助先生をはじめ、世界各国でCOPD診療の第一線でご活躍の専門医から「GOLDの新ガイドライン」についてご説明させていただきます。また、日本におけるCOPD診療の課題などについても具体的にご紹介させていただきます。

*1) COPDの医療水準の向上と啓発活動を行うため、WHO（世界保健機関）とNHLBI（米国立心臓血液研究所）の呼びかけのもと、日本を含む世界50か国以上の専門家を中心となり発足させた組織。2002年から、毎年11月中旬の水曜日の1日を「世界COPDデー」に制定し、COPDの予防、早期診断・早期治療の普及を目的にさまざまな活動を展開しています。今年も、11月15日（水）が「世界COPDデー」です。

ご多用のところ誠に恐縮ですが、万障お繰り合わせの上、ご参加いただきたくお願い申し上げます。
なお、ご出欠のFAX返信用紙は、11月16日（木）までにご返送いただければ幸いです。

【世界 COPD デー推進日本大会 2006 イベント概要】

COPD の国際ガイドライン「GOLD」の改訂を発表

～ COPD の診療は、かかりつけ医と専門医の連携で ～

■メディアフォーラム

日時: 2006年11月19日(日) 14:00～15:40 (受付13:30より)

場所: 国立京都国際会館 Room C-2

プログラム: I. 「GOLD新ガイドラインの発表」(14:00～15:00)

福地 義之助 氏 (GOLD 執行委員会および科学委員会 委員)

Sonia Buist, MD

(GOLD 執行委員会委員長/Executive Committee Chair)

Suzanne Hurd, PhD (GOLD 科学担当理事/ Scientific Director)

Klaus F. Rabe, MD, PhD

(GOLD 科学委員会委員長/Science Committee Chair)

Peter Calverley, MD

(GOLD 普及委員会委員長/Dissemination Committee Chair)

Chris van Weel, MD (WONCA 代表)

Claude Lenfant, MD (GOLD CEO)

II. 世界COPDデー推進日本大会 COPD 医療への取り組み(15:00～15:40)

福地 義之助 氏

遠山 雄二 氏 (日本呼吸器疾患患者団体連合会 患者代表)

John W. Walsh (International COPD Coalition 代表)

質疑応答

- 主催: 世界 COPD デー日本委員会
- 共催: アストラゼネカ株式会社、アボット ジャパン株式会社、大塚製薬株式会社、グラクソ・スミスクライン株式会社、帝人ファーマ株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社、ファイザー株式会社、三菱ウェルファーマ株式会社
- 協賛: アルタナ・ファルマ株式会社、田辺製薬株式会社
- 後援: 京都市、福岡市、日本医師会、京都府医師会、福岡県医師会、日本呼吸器学会、日本呼吸ケア・リハビリテーション学会
- 協力: チェスト株式会社

お問い合わせ先

株式会社エム・シー・アンド・ピー

担当:本岡/菅原

TEL:03-3597-0170 FAX:03-3597-0177